

広報 ただみ

5
2025 月号
No. 660
令和7年5月10日



今月の表紙

【只見中学校入学式】

新年度が始まり、町内小中高校では入学式、認定こども園・只見保育所は、合同で入園・入所式が行われました。只見中学校の入学式では、入谷校長が新入生に「中学校は夢や目標を見つけ必要な力を身につける場。全力で応援します」とお祝いの言葉を贈りました。
(関連記事：P 2～3)

《特集》

入学式・入所式 2～3

「ネイチャーポジティブ自治体認証」を取得
..... 4

《News&flash》 5～6

《町の話》 7～8



ぶなのもりこども園
只見保育所 入園・入所式



おめでとう
ございます

只見
小学校

新入児童 6人
全校児童 39人



朝日
小学校

新入児童 8人
全校児童 46人





明和 小学校

新入児童 3人

全校児童 42人

只見 中学校

新入生 14人

全校生 57人



只見 高校

新入生 20人

(うち山村留学生6人)

全校生 72人





▲木製の枠に収められた認証書



▲認証書を手渡した土屋理事長(右)

人と自然との共生への取り組みが評価

「ネイチャーポジティブ

自治体認証」を取得

只見町の取り組みと 評価ポイント

只見町は、ユネスコエコパークの町として豪雪に育まれた豊かな自然とそれをよりどころとする人の生活文化があります。

そして、ユネスコエコパークの枠組みを利用した人と自然との共生を図る町づくりを推進し、「只見町の野生動植物を保護する条例」、「自然首都・只見」学術調査助成金事業、「地域フィールドを活かしたESD」、「自然首都・只見」伝承産品、「薪エネルギー推進事業」など様々な取り組みを行ってきました。

今回、只見町ブナセンターを中心に地域の自然環境の保全活用様々な取組や、自然・文化を活かしたESD（持続可能な開発のための教育）を推進していること、独自の学術調査研究助成制度を通じて地域の価値向上と交流人口増加を両立させて

いることなどが高く評価されました。

ネイチャーポジティブ 自治体認証とは？

ネイチャーポジティブ自治体認証は、市町村が地域の生物多様性の重要性を認識し、保全と再生に向けた計画を策定・実行していることをNACS-Jが認証する制度です。認証には4つの基準が設けられています。

1. 首長によるネイチャーポジティブ宣言
2. 生物多様性保全上の重要地域と課題の特定
3. 保全と再生を実効的かつ持続的に行う計画の策定
4. 土地利用の改善、生態系サービスの発揮、教育・人材育成などの増加が見込まれる取り組み

只見町は、これら全ての基準を満たしました。

子どもたちの未来を育む 只見町認定こども園開園式

只見町認定こども園（ぶなのもりこども園）の開園式が4月5日に行われ、来賓や職員など関係者らが出席しました。

式では、渡部町長が「子育て支援の中心を担う場所。よりよい教育、保育ができるよう努めたい。子どもたちのびのびと成長することを願う」とあいさつし、佐藤町議会議長が来賓を代表しお祝いの言葉を述べました。

また、さくら組の子どもたちによる「只見の空」が披露され、開園を祝いました。



▲「只見の空」を披露した子どもたち

町民生活の安全を守る 令和7年度 実施隊・捕獲隊編成式

「令和7年度只見町鳥獣被害対策実施隊及び只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式」が4月16日に開催されました。

編成式では、実施隊員（及び捕獲隊員）を代表して、深津和枝さんに実施隊辞令書及び捕獲隊員登録証が交付されました。

今年度は只見分隊17人、朝日分隊10人、明和分隊18人の計45人が実施隊として登録されています。（4月1日現在）



▲隊員を代表して辞令書を受取る深津さん

今年度の事業等を報告 「町政報告会」開催

今年度の町の事業や各集落への依頼などを報告・説明をする「令和7年度町政報告会」が、4月24日に季の郷湯らで開催されました。

報告会では、担当課から各区長に、参院選挙の協力をお願い、害虫駆除補助金、鳥獣被害防止対策事業費補助金、成年後見センターの解説、空き家等の適正管理のお願い、認定こども園に関するなどの等説明が行われました。

引き続き町政執行にご理解、ご協力をお願いします。



▲町政報告会の様子

本名氏、二十歳の会より 貴重な版画の寄贈

本名正二氏（只見町出身）と二十歳の会のメンバーらは、4月15日に町役場を訪れ、著名作家の版画を町に寄贈しました。

本名氏は「寄贈した作品が町民や来町の人に留まり、只見町にとっての良いことに繋がって欲しい」と話しました。



▲本名氏寄贈：柿の会津（左）、さつきの会津（右）（作：斎藤清）



▲二十歳の会寄贈：濤と鶴・寿（作：加山又造）

只見高校生が選挙を模擬体験

選挙体験授業実施



▲選挙事務の説明を受ける生徒と説明を担当した町選管職員

福島県選挙管理委員会と教育機関などが連携して実施する高校生向けの選挙体験授業「未来の福島県知事選挙」が只見高校3年生を対象に行われました。

生徒たちは、候補者役の政見放送を見て、どの候補者が福島県の復興に必要なを考え、実際の投票所に近いレイアウトの中で、模擬投票を行いました。続けて開票事務も体験しました。

体験後、生徒たちは「体験を通して選挙の流れが分かった。不正を無くす工夫を知ることができ、1票の重さを感じた」と話しました。

只見町固定資産評価審査委員

辞令交付が行われました



▲委員を務める渡部さん(左)、目黒さん(中)、横田さん(右)

只見町固定資産評価審査委員の辞令交付が4月28日に役場町下庁舎で行われ、目黒甚一郎さん(小川)、横田雅則さん(大倉)に辞令書が手渡されました。

目黒さんは2期目、横田さんは1期目となり、任期は令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間となります。

固定資産評価審査委員により構成される同委員会は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査、決定をするための中立的な機関で、3人以上の委員から構成されます。町では、今回辞令を受けた2人と渡部茂さんの3人体制となります。

只見町観光大使第1号

冒険家・風間深志氏を委嘱



▲委嘱状を受取る風間氏(右)

町は、只見町観光大使に冒険家の風間深志氏を委嘱しました。委嘱状交付式は4月17日に行われ、渡部町長が風間氏に委嘱状を手渡しました。渡部町長は「地域の魅力を掘り起こし、子どもたちに生きる喜びを伝えてほしい」と話し、また風間氏は「只見町は自然・文化・伝統が残っており、図書館みたいな場所。只見町の魅力を地域の人と共に多くの人に伝えていきたい」と話しました。

○風間深志氏：オートバイで北極点到達などを達成した冒険家。また、地球元氣村村長を務めており、過去には只見中での講演や只見町での自然体験活動などを行った。

新たに政策監を

設置しました

前号でも触れたとおり、町では、行政運営のさらなる効率化と政策推進力の強化を図るため、副町長の他に、政策監を設置しました。

副町長は、町長を補佐し、町の対外的な関係・連携の他、企画・政策立案を担います。

政策監は、庁内を横断的に統括、部局間の調整の他、財政運営の整合を担います。

これにより、課題に迅速かつ的確に対応できる行政運営を目指してまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

フナりん健康ポイント **50ポイント到達!**
おめでとうございます!



角田宗雄さん(小林)が「フナりん健康ポイント制度」で50ポイントを達成しました。これからも健康に長生きしてくださいね。

走って、地域の魅力を再確認

「只見線リレーマラソン」開催

JR只見駅から会津若松駅までの28駅27区間をタスキで繋ぐリレー形式のマラソンイベント「只見線リレーマラソン」が3月29日に開かれました。

地域の魅力を再発見し、「マイレール意識」を高め、只見線を応援しようと昨年から開催されており、2回目の今回は只見町、金山町の有志の他、会津若松市等からもランナーが参加し、31人が只見線沿線を駆け抜けました。

参加者は「スタート時には降雪があり寒かったが、沿線や駅で応援してくれた人や企画を支えてくれた方のおかげで楽しく走ることができた」と話しました。



▲会津若松駅でゴールテープを切ったランナー

新たな生活が始まる「山村教育留学生対面式」実施



▲只見町で新たな生活を始める山村教育留学生6人

「只見町山村教育留学生第24期生対面式」が4月9日に只見公民館で行われ、県内外から6人の山村教育留学生が只見町での生活をスタートしました。

対面式では、渡部町長と佐藤町議会議長からお祝いの言葉が送られた後、山村教育留学生が只見高校生として3年間の高校生活でやりたいことや、将来の夢、抱負を話しました。また、記念品として町から、只見町商品券や只見学ガイドブックが贈られました。

地域を綺麗に「ちょボラごみ拾い」実施

朝日地区地域づくり委員会の主催で「ちょボラごみ拾い」が4月19日に開催されました。今年は、朝日小学校児童も参加し、地域住民も含めて約160人が朝日地区内の国道や県道などでごみ拾いを行いました。

ちょボラごみ拾いは、環境美化への取り組みを通して、ごみ問題や環境問題に関する意識の高揚を図ることを目的に開催されており、また子どもから大人まで広く集まるため、地域の交流の場にもなっています。

参加者らは、会話を楽しみながら、地域の美化に努めました。



▲ごみ拾いに集まった地域住民の皆さん

只見町の春を感じる「野生植物の花観察会」開催

只見町ブナセンター主催の「野生植物の花観察会」が4月26日に黒谷入地区で行われ、町内外から16人が参加しました。当初は深沢地区で開催予定でしたが、残雪が多かったため観察地を変更しての開催となりました。

観察地には、カタクリ、キクザキイチゲ等の春植物が花を咲かせており、フクジュソウは一面の絨毯となって咲き乱れ、参加者は感嘆の声を上げました。また、絶滅危惧種のユビソヤナギの観察も行い、河川環境との関係も理解を深めました。他にも、この時期の只見町ならではの雪食地形と残雪、ブナの新緑、オオヤマザクラの花などが同時に見られる美しい景観も楽しむことができました。



▲辺り一面に咲いていたフクジュソウ

新緑と残雪を楽しむ「ブナ林の新緑観察会」開催



▲雪が残るブナの二次林

只見町ブナセンター主催の「ブナ林の新緑観察会」が4月27日に癒しの森で開かれ、町内外から9人が参加しました。

林内にはまだ多くの残雪があり、ブナの新緑と残雪のコントラストを楽しむことができました。道中では、秋に落ちたヤマナシ（オオウラジロノキ）の果実や、ブナの花を観察しながら目的のブナ林まで進み、あまり人の手が入っていない原生林に近い自然林と、伐採後に再生した二次林を観察し比較しました。その後、戸板山眺めで咲き始めのオオイワウチワの花を楽しみ折り返し、参加者らは、只見町らしい残雪と新緑のブナ林を体験しました。

山岳・自然分野の写真芸術の写真賞 中野さん 田淵行男賞を受賞

田淵行男賞写真作品公募実行委員会が主催する山岳、動植物の生態、自然環境をテーマにした組み写真をプロアマ問わずに公募する写真賞「第7回田淵行男賞」の一般の部において、中野陽介さんが「田淵行男賞（大賞）」を受賞しました。

受賞作品は「雪と共に生きる～雪国・福島県只見町の自然と人の暮らし～」をテーマに20枚組写真で、只見町の自然風景や生物・人の営みなどを写した作品です。

受賞作品や今後の作品展示などにつきましては、田淵行男記念館ホームページ又はフェイスブックをご覧ください。



▲受賞した中野さん

ただみ・モノとくらしのミュージアム 第3回テーマ展 開催中!

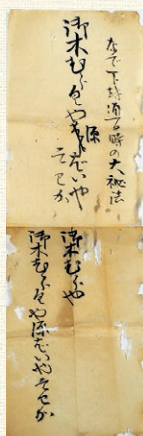
ただみ・モノとくらしのミュージアムでは、第3回テーマ展「只見町文化財新指定記念〈会津只見のヤマサキ資料〉と〈瀧泉寺聖教典籍〉」を開催しています。只見町の指定文化財は、2025年現在30件あります。本テーマ展では、近年新たに指定された2つの文化財を取り上げています。

1つ目は〈会津只見のヤマサキ資料〉です。ヤマサキとは、狩猟や山樵（木こり）など、山仕事をした人々の先達・親方という意味です。山ノ神の司祭者でもありました。福島県では只見町だけで確認されていますが、山形県小国町、新潟県村上市旧朝日村でも確認されています。只見町のヤマサキは、特定の家が世襲的につとめてきており、朝日地区2軒、只見地区3軒の計5軒確認されています。それぞれの家のヤマサキ関連資料は、町に寄贈され、2024年4月に只見町文化財に指定されました。本テーマ展では、各家のヤマサキ関連資料を紹介するとともに、狩猟や山樵で使われた民具もあわせて展示しています。



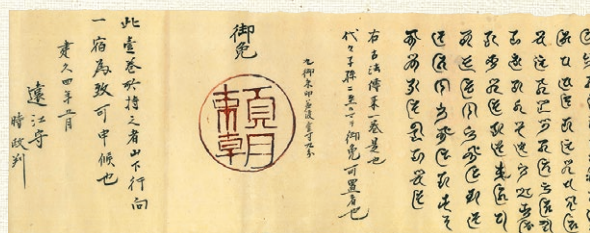
▲山ノ神の祭壇 展示風景

床の間に祭壇を設け、家の神棚とは別に山ノ神を祀っていた。



▲なで下を通る時の大秘法（只見町小川）

なで（雪崩）が起きそうな所の下を安全に通る時のまじない歌。
ヤマサキの司祭者としての活動がわかる資料



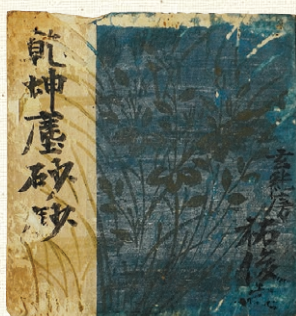
▲山立根元巻（只見町田子倉）

狩猟の許可状。源頼朝・北条時政が、所持する者に狩猟を許可すると書かれている

2つ目は〈瀧泉寺聖教典籍〉です。瀧泉寺は、只見町黒谷にある真言宗のお寺です。2017年11月に、室町時代から江戸時代の聖教典籍（仏教古典籍）が約700点発見されました。応永35年（1428）を最古として、室町時代・安土桃山時代の古典籍が127点、うち97点は、『神皇正統記只見本』を書写した玄純房祐俊（1547～1606～?）がこの地にもたらしたものです。本テーマ展では、瀧泉寺のさまざまな装訂の中世写本（手書きの書物）を通して、書誌学の基礎を学ぶことができます。



▲瀧泉寺聖教典籍 展示風景



▲乾坤塵砂鈔 1586年 祐俊筆

日本に、このひとつしか伝わっていない、孤本の古典籍



▲伝法灌頂道場料理等 1585年 祐俊筆
折本と呼ばれる装訂。横長の継紙を折り揃えて装訂した様子

文化財指定の目的は、文化遺産を未来に向けて永久に保存し、町民のために活用（公開）していくことです。文化財のお披露目として展示しますのでぜひご覧ください。

文・写真：原永円香



ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報 入館無料

第3回テーマ展

「只見町文化財新指定記念〈会津只見のヤマサキ資料〉と〈瀧泉寺聖教典籍〉」

会期：2025年3月25日(火)～2025年6月29日(日)

場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール

町民文芸



只見短歌会

令和七年四月詠草

雪に折れ椿の枝の乱れあり堅き蕾の無数に付きて

目黒 富子

通院におかげ様での我が人生昔懐かし思ひ出の数

関谷登美子

桜舞ふ道を跳ねゐる二歳児の笑顔ふはりと春風なづる

立花 奏音

入院の母を待ちゐる^{みどりこ}嬰兒の無邪気に笑へば愛しき^{しる}著き

新国由紀子

田子倉の湖水に沈む集落の資料展示にわれは見入れり

渡部ヨリ子

只見俳句会

四月定例会

息上げてとどまりて聞く初音かな
稽古終え来し方思う春の月

一 恵

雪解けや庭の蛇穴のぞき込む
若き日に二人で植えし桜かな

真理子

冬の朝母の苦言を懐かしむ
春の雨線香灯し一人言

睦 子

花並木時折小さき人の影
久々の生家の仏間あたたかし

礼

ピカ／＼とくたびれカバン登校す
春泥の上にも並べ種子の箱

一 穂

陽春やまだ冷たき畑の土
青空や柳の芽吹き包みおり

修 一

春や春彦根の城に集う人
桜散る^{ものふ}武士の栄華今いずこ

信

誰その計報聞いては淋^{さび}し増す
農道の深き鼓動や草萌える

都

春なれど背を丸め行く散歩道
酔えば直ぐ眠れる夫や座禅草

味代子



今月のお知らせ

試験

令和8年度只見町職員(大学卒程度)(資格免許職)採用候補者試験を行います

一、試験職種及び採用予定人員

【大学卒程度】

○一般事務

1名程度

○土木

1名程度

○建築

1名程度

【資格免許職】

○保健師

1名程度

二、受験資格(学歴不問)

【大学卒程度】

○一般事務・土木・建築

昭和60年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた者で、土木・建築職においては、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

【資格免許職】

○保健師

昭和50年4月2日以降に生ま

れた者で、保健師(保健婦)の免許を有する者、又は令和8年3月末までに資格取得見込みの者

三、試験の方法

【第一次試験】

教養試験(大学卒、短大卒程度)及び事務適性検査(資格免許職を除く)・性格特性検査・職場適応性検査

※大学卒程度(一般事務・土木・建築)は、この他に専門試験があります。

【第二次試験】

小論文・面接による試験(第一次試験合格者)

四、第一次試験の日時、会場

▽日時

令和7年7月13日(日)

午前9時受付〜午後5時

※試験内容により終了時間は異なります。

▽会場

福島大学(福島市金谷川1番地)

五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用する者を決定します。(名簿の有効期間は一年間)

七、受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

総務企画課及び朝日・明和公民館で交付します(郵送による場合は、140円切手を貼った自分宛の返信封筒角形2号を添付すること)。

▽申込の方法

申込用紙に必要事項を記入し総務企画課に持参又は郵送により提出ください(いずれの場合も110円切手を貼った自分宛の返信封筒長形3号を添付すること)。

▽受付期間

令和7年5月14日から6月13日まで(郵送による場合は、6月11日までの消印有効)

●お問合せ先

只見町役場総務企画課総務係

☎0241-8215210

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
成年後見センター		☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
交流推進課	観光交流係	☎82-5240
	商工労働係	
ユネスコエコパーク推進係		☎82-5963
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		
会計室		☎82-5120
只見保育所		☎82-2219
認定こども園		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所(歯科)		☎84-2221
こぶし苑		☎84-2612
只見公民館		☎84-2101
朝日公民館		☎82-2141
明和公民館		☎84-2111
教育委員会		☎86-2111
学校給食センター		☎82-5320
議会事務局		☎84-7180
農業委員会		☎82-5300
		☎82-5230

5月31日は世界禁煙デー

5月31日は、「世界禁煙デー」です。日本では5月31日から6月6日までを「禁煙週間」としています。喫煙は喫煙者本人にとどまらず、周囲への健康影響も大きいことから、健康増進法の改正により、たばこの煙と周囲への配慮は、マナーからルールへと変わっています。さらに県では、令和3年4月1日に「ふくしま受動喫煙防止条例」を施行し、受動喫煙防止を推進しています。

この機会に自身の健康や大切な家族、たばこを吸わない方のため、禁煙について考えてみましょう。

■問合せ
南会津保健福祉事務所
☎0241-6310302



行政に関する相談を付けています

行政相談委員は、行政全般に関するご意見やご要望を受け付け、相談者と関係行政機関との間に立って解決を促進するように応じています。

相談は無料で、秘密は守られます。

■只見町担当行政相談委員

目黒真弓さん(小川)

☎8412708

税 今月の納期

5月27日までに

納めましょう

●軽自動車税(全期)
●農集排使用料(5月分)



ただみに来た人に 聞いてみた

只見町在住14年目

中野 陽介 さん

ただみに来たきっかけ

を聞いてみた

初めて只見町を訪れたのは当時大学院生だった2011年の秋で、只見町出身の研究室の後輩の調査研究の手伝いのためでした。只見に来てみて、まず山がとても険しいことに驚き、これは雪の影響だと直感しました。また、このような大雪の降る場所でのような人の暮らしがあるのだろうと強く興味を持ったことを覚えています。その後、只見町がユネスコエコパークに取り組むにあたり人材を募集していると伺い、自分の興味・関心と仕事が合致していたためこれに応募し、只見町役場に有難く採用いただき、2012年の春から只見町で暮らすようになりました。

ただみでの暮らし

を聞いてみた

学生時代は一年の大半を佐渡島で暮らしながら森林の研究をしていました。そこは只見町より人やお店の少ない環境だったので、只見町の暮らしに大きな不便を感じたことはありません。雪は、太平洋側の出身であることに加え、初めて経験した只見の冬は観測史上最大の大雪で面喰い、雪に対する見方を改めました。

しかし、この雪による只見の豊かな自然と独自の生活文化に興味を惹かれて移住した自分にとってはある意味で恵みの雪です。雪がなければ移住もなかったでしょう。

ただみで感じたこと

を聞いてみた

只見町には自然と人の関係について興味を持っている自分を受け止めてもらいました。雪が作り出す自然、そこに暮らす野生動植物、本で見聞きしたような伝統的な生活文化を自分の目で見る事ができたこと、それらすべてが今の自分の糧になっています。只見にきてよかったと感じています。



町HP
移住体験談

中野さんのお話をもっと詳しく知りたい、他の移住者の話をもっと聞きたい方は、パソコンやスマホのブラウザアプリから「只見町 移住体験談」で検索してください！

5月下旬～6月の

イベント情報

5月24日 土 民話茶屋

只見町で語り継がれてきた昔ばなしを只見町昔ばなしの会の方々が只見弁で語ります。

【時間】 午前10時30分

【場所】 ただみ・モノとくらしのミュージアム

いろいろの間

【問合せ先】 ただみ・モノとくらしのミュージアム

(TEL 0241-86-2175)

6月1日 日 蒲生岳山開き

只見4名山の1つ蒲生岳の山開きです。標高はそれほど高くはないものの、急坂や岩場があり、中級～上級者も楽しめます。

【時間】 午前6時30分

【場所】 蒲生集会施設「雪の里」駐車場

【問合せ先】 只見町インフォメーションセンター

(TEL 0241-82-5250)

6月8日 日 会津朝日岳山開き

標高1624メートルの山頂から望む景色が絶景。山開き前後は山頂付近に雪渓があり、アイゼンやピッケルなどが必要です。雪が消えると険しい岩場が露出します。上級者向け。

【時間】 午前6時

【場所】 赤倉沢登山口

【問合せ先】 只見町インフォメーションセンター

(TEL 0241-82-5250)

6月22日 日 浅草岳山開き

標高1585メートル。福島県と新潟県の県境に立つ山。様々な植生の観察を楽しみながら上ることが出来ます。ロングコースで、足場が悪く滑りやすい箇所もあるため、上級者向けです。

【時間】 午前6時

【場所】 只見沢登山口

【問合せ先】 只見町インフォメーションセンター

(TEL 0241-82-5250)

※編集時点における開催予定になります。
詳細は各問合せ先にご確認ください。



町民の消息

(3月26日～4月25日届出分)敬称略

■ご結婚おめでとうございます

小林 角田 誠♡小山 弘美 下郷町

■おくやみ申し上げます

佐藤 京子	87歳	入叶津
渡部 克之	83歳	只見
渡部 幸子	81歳	黒沢
矢沢 克子	78歳	二軒在家



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和7年4月1日現在

人口	3,492 (-30)
男	1,731 (-18)
女	1,761 (-12)
世帯数	1,500 (-6)
高齢化率	48.6%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 17 転出 44 出生 0 死亡 4

▽ご入学された皆さん、おめでとうございます。新生活は不安も多いと思いますが、新たな出会いや様々なことにチャレンジできる機会も増えると思います。ぜひ、新生活を楽しんでください。

▽冒険家・風間さんが只見町観光大使に就任されました。これをきっかけに多くの方に只見町の魅力が届くことを願っています。

(小林)

あとがき

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★人魚が逃げた

【著】青山美智子 (PHP研究所)



SNS上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入りした。どうやら「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街をさまよい歩き、「僕の人魚が、いなくなってしまって…逃げたんだ。この場所に」と語っているらしい。彼の不可解な言動に、人々はだんだん興味を持ち始め

一。そしてその「人魚騒動」の裏では、五人の男女が「人生の節目」を迎えていた。銀座を訪れた五人を待ち受ける意外な運命とは。「王子」は人魚と再会できるのか。そもそも人魚はいるのか、いないのか…。

★DTPA

【著】安堂ホセ (河出書房新社)



舞台は南太平洋の楽園、ボラ・ボラ島。白人女性「ミスユニバース」を巡って10人の男が競う。Mr. L. A.、Mr. ロンドン、そして Mr. 東京。やがてショーの視聴者たちは「自分だけのDTPA (デートピア)」を編集しはじめ、楽園の時間は膨張する。

第172回芥川賞受賞。

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。





只見町の自然や 生活文化を活かした教育の支援

只見町は豪雪に育まれた豊かな自然とそこに暮らす人々の生活文化が共存してきました。只見町がユネスコエコパークに登録されたのは、人が自然とともに生きていく姿を学ぶのにふさわしい地域だからなのです。そんな只見町のすべての小中学校はユネスコスクールに加盟し、将来を担う子供たちの教育のために、只見町の自然を活かしたE S D（持続可能な発展のための教育）に力を入れています。

只見町ブナセンターはE S Dを支援することを目的に、令和6年度には只見小学校の先生・生徒とともに、只見町の自然や生活文化を活かした教育プログラムに取り組みました。見慣れた遠くの森の木を描き、山を登ってそれらの樹木を調べ、さらに、調べた樹木が古民家に使われていることなどを学びました。只見町は豊かな自然とそれを拠り所にした人の暮らしを考えるうえで素晴らしいフィールドであるということを確認できた1年でした。

▶只見の自然景観を理解するために四季を通じた山のスケッチ



▶同じ場所を夏、秋、冬と描き、地形による森林の違いも学びました



▶スケッチした山に実際に登り、どのような森林があるか調べました



▶ブナ二次林では新利用などブナ林と人の関わりを学びました



▶学術調査研究で明らかにできなかった山に生えている樹木でできた古民家を見学（ただみの森キャンプ場）



▶自然と人の暮らし（道具、エネルギー）の関わりをまとめ、公民館祭りで発表

